

新潟教育会報

第88号

公益財団法人新潟教育会
(新潟教育会館内)

代表理事 川端 弘実

〒951-8104

新潟市中央区西大畑町590番地3

TEL/FAX 025-222-2971

URL <http://kyouikukai.jp>E-mail 事務局 jimu@kyouikukai.jp研究所 kenkyujo@kyouikukai.jp

休館日 月曜日

平成30年度 夏季大学講座



講師プロフィール

▼1959年 千葉県生まれ

▼早稲田大学法学部卒業

▼1983年 リクルートへ入社

就職情報部門にて、中途採用求人誌の
広告営業を担当

▼2006年 リクルートコミュニケーションエンジニアリングが設立され、
同社統括部長となる。

▼2008年 代表取締役就任

▼現在、シニアオフィサーとして、リクルートコミュニケーションエンジニアリングの経営サポートとして活躍中

□著書

「動かない部を動かす技術」

(日本経済新聞出版社)

「将来に活躍する新人の育成を考える」

～企業における若手育成をめぐって～

講師 桐岡 隆 澄 様

○開催日 8月4日(土)

○会場 長岡リリックホール シアター

「安心の場」づくりを

新潟市立上所小学校

三浦智恵子

「人を育てる上で大切にしたいこと、それは安心の場づくりである。」というお言葉が心に残った。とかく個人をどうするか、に力を掛けることが多いが、そうではなく、第一歩は「安心の場」チームワークをつくることである。

私たちがこれまでに取り組んできた学級経営と似ている。後輩育成について考える機会が増えたが、もう「根性論」ではだめなことは誰もが感じている。安心の場をつくることこそが、まず取り組めることではないかと感じた。様々な立場から考えることができたご講演であった。

人として大切にされている
という実感を

村上市立神納小学校

小池満喜子

一人の「人」として見てもらえる喜び。自分の仕事や生き様に共感してもらえる職場。ご講演を拝聴し、人材育成には安心の場づくりが欠かせないと感じた。

日々、教職員が取り組んでいる仕事に対し、適切な言葉掛けをして価値づける。様々な出来事や成功や進歩をみんなの喜びとして分かち合い、次の自信へとつながっていく。そして、感じたことを率直に話せる職場の雰囲気をつくる。

企業も学校も同じだ。お互いの「人」としての魅力を活かすに発揮し、安心して働くことができる職場づくりに努めたい。

第十回 教師力アップ講座

期 日 平成30年7月29日(日)
会 場 新潟教育会館

この講座の特徴は、参加型の研修、受講選択制の研修、すぐに役立つ研修の三つです。本年は、二講座を実施しました。

第一講座

「小学校のプログラミング教育導入に向けて
背景と考え方についての講義と
プログラミング体験」

講師 片山 俊郎 様

日本デジタル教科書学会副会長
新潟県・新潟市小学校教育研究会事務局長
新潟市立新潟小学校教諭



【受講生の声】

▼プログラミング教育の導入に関して不安を持っていた教師の一人でありましたが、今日の研修を通して、少し不安が減りました。

プログラミングというものは、専門的で将来その職につく人が何人いるかと考えたときに必要な教育なのかという疑問を持っていました。しかし、プログラミングの技術や専門知識を身に付けるのではないということがよく分かりました。

今の時代でも、プログラミングされて身の回りに役立っているものが多いに多めに気付かせることや、実は、我々人間もプログラミング的思考をしながら、日常生活を送っていることに気づかせ、よりよい生き方ができるようにすることが大事かなと思いました。

第二講座

「温かい学級と強い学級
秋から学級をバージョン
アップする実践方法」

講師 橋本 定男 様

新潟薬科大学非常勤講師

【受講生の声】

▼橋本先生のお話を聞き、夏休み明け、子どもに会うのがより楽しみになりました。母性と父性の両方を目指して、子どもとかわかっていきたいと思っています。

▼学級づくりは、学校経営と同じだなと思ってお話を聴きました。表と裏の両

面があって「見えざる手」(仕掛け)が必要であること、教師の願いを子どもの主体性に変換させていくこと、勉強になりました。

▼初めて参加させていただきました。話を聞きながら、自分の学級を思い浮かべ、2学期以降「こうしようかな」「やってみようかな」と少し見えてきました。まずは、自分の存在が子どもたちにとって、安心できるものであるよう努めたと思います。



来年度の講座実施予定



7月28日(日)
新潟教育会館にて

保護者の子育て講座

「カウンセリングを通して」

期 日 平成30年9月2日(日)
会 場 新潟教育会館
参加者 2人

講師 山田 友明 様

佐藤 隆夫 様

新潟教育会教育アドバイザー
学校カウンセラー

子どもたちは、自分の気持ちを聴いてほしいと思いますが、大人の方はついつい、説教調になってしまうがちになります。子どもの話を聴くことの大切さは分かっているものの、いざ聴こうとなると、うまくかわりができないこともあります。

これらの現状をふまえ、子どもの気持ちを受けとめる効果的な話の聴き方について、ロールプレイを通して研修しました。ロールプレイでは、実際に話を聴く練習をしました。

少ない参加者でしたが、「なるほどと思えたし、良い勉強になった。」「貴重な機会を持たせていただきました。」「来年以降も続けてもらえたら幸いです。」等の感想をいただきました。

来年度の講座実施予定



9月1日(日)
新潟教育会館にて

本年度の指導者

氏 名	所 属
木澤 弘	長岡市立越路小学校
生田 雅之	新潟市立女池小学校
前山 和彦	燕市立小池小学校
井筒 正之	新潟市立江南小学校
高久 義之	県立新発田竹俣特別支援学校
戸川 美子	新潟市立早通南小学校
山田 喜浩	長岡市立大河津小学校
鈴木 正彦	下越教育事務所
古田島真樹	南魚沼市立大巻小学校
門野 慎一	新潟市立内野小学校
山口真希子	長岡市立栃尾東小学校
中島 崇	新発田市立東小学校
庄司 宗由	新潟市立坂井東小学校
丸山 由希	長岡市立上川西小学校
川上 綾子	三条市立大島中学校
佐藤 大介	長岡市教育センター
五日市美穂	新発田市立東豊小学校

第44回教育相談研修会

平成30年8月16日(木)～18日(土)
会 場 じょいあす新潟会館
参加者 21人

1 ねらい

いじめ、不登校などの解決に当たって、信頼に基づいた児童生徒と教師の人間関係の確立と教師による深い児童生徒理解の力量が求められている。

今求められている児童生徒と教師の信頼関係づくりや心の交流の在り方、心理臨床的カウンセリングについて、実習を通して身に付ける。

2 研修内容

○児童生徒と教師との心の在り方を実習する。

○傾聴訓練、ロールプレイ、構成的グループエンカウンター等の実習を通して、「受容」とは何か、「共感」とは何かを探り、教育の場にどのように生かせばよいか考える。

3 日程の概要

	9:00	9:30	10:00	10:30	10:45	12:00	13:00	18:00	20:00
16日(木)	受付	開講式	オリエンテーション	着替え	グループ実習1	昼食【ぼたん】	グループ実習2	夕食・懇親会【コース】	
17日(金)	朝食	グループ実習3					グループ実習4	夕食【やまぶき】情報交換	
18日(土)	朝食	グループ実習5			閉講式	企業委員反省会【やまぶき】			
	9:00			11:00↑	9:11:50	13:00			
				11:20					

【受講生の声】

▼今回の教育相談研修会では、とても多くの実習を通してカウンセリングの技法を学ぶことができた。

一つ一つの技法の意味を知ること、その役割はとても重要だと感じることができた反面、実際に活用すると上手くできないという課題もあった。たくさんの実践を積んで学んだことが教育現場で充分に生かせるようにしていこうと思う。

学んだことを生かす際には、相談者が主導権をにぎって話せるよう、私のくせでもある誘導にならないように繰り返しや要約などの技法を適切に取り入れ進めていきたい。相談者が自己決定、自己解決していける場を提供していけるよう、今回の学びを役立てていきたい。

▼今回、基本の型を学ぶカウンセリング技法の研修会に参加させていただきありがとうございました。

自分のクセを自覚したり、トレーナーから指摘されたりし、再確認する機会となりました。感情を移入したり、解決に導いたりする傾向性。腕を組んだり、腰に手を当てたりする所作の習慣。これら自分自身を見つめ直すことができ感謝いたします。

また、世代・職種などの異なる先生方から、パワーやエネルギー、学びへの姿勢や意欲をもらうことができました。さらに、指導者や受講生の先生方と旧交を

温め、新しい人脈を広げることもできました。

今回の研修を、点で終わらせず、線から面へと立体的に構成できたと思います。学びを継続させ、現場の子どもたち、保護者、地域住民、そして、関係機関の方々に還元し、信頼を勝ち得て行く決意です。

来年度の
研修会実施予定

8月6日(火)～8日(木)
「じょいあす新潟会館」にて
二泊三日の日程

※最終日は、午前で終了

特別支援教育

助成金授与式

期 日 平成30年11月21日 (水)
会 場 新潟教育会館

本年度の特別支援教育助成校六校に対する助成金授与式が開催されました。

該当六校は、各地区の特別支援教育担当指導主事から推薦されてきた学校(学級)の中から、選考委員会(9月)で審査され、理事会(10月)を経て決定されました。

この事業は、昭和47年以来続いているもので、助成した学校(学級)は、363校(学級)にのぼっています。

発足当時の助成校は、10～11校と多く、助成金は2万円でした。この助成のために鉛筆の販売もしていたそうです。

年号が平成に代わることを契機として、助成校を8校とし、助成金を5万円にアップしました。

助成校が6校、助成金が5万円となったのは、平成8年から現在に至っています。

当会では、これからも県内の特別支援教育に努力されている学校(学級)に対する助成を継続したいと考えています。なお、助成された学校の取り組みについては、当会発行の「新潟教育会報」第90号(平成31年6月発行予定)に掲載いたします。



平成30年度 特別支援教育助成校

◎上越市立南本町小学校

発達障害通級指導教室(2学級)
知的障害特別支援学級
自閉症・情緒障害特別支援学級

◎見附市立今町小学校

自閉症・情緒障害特別支援学級
(5学級)
知的障害特別支援学級
肢体不自由特別支援学級
病弱・虚弱特別支援学級

◎聖籠町立山倉小学校

発達障害通級指導教室
知的障害特別支援学級
自閉症・情緒障害特別支援学級
(2学級)

◎新潟市立小合東小学校

知的障がい特別支援学級
弱視特別支援学級

◎出雲崎町立出雲崎中学校

自閉症・情緒障害特別支援学級
知的障害特別支援学級

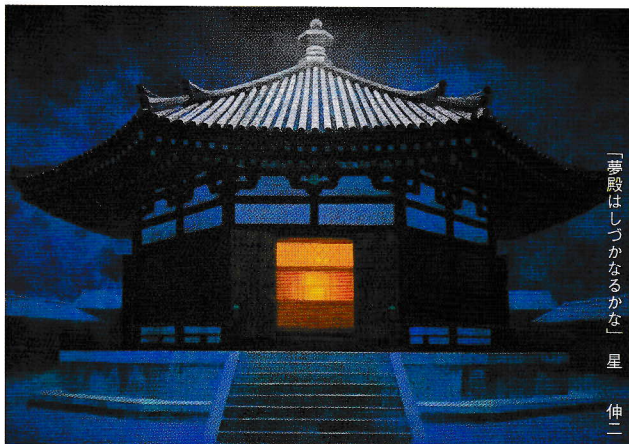
◎新潟市立南浜中学校

知的障がい特別支援学級

第22回教美展近づく

期 間 平成31年1月10日(木)～16日(水)
時 間 午前9時30分～午後5時
最終日は、午後3時まで
会 場 新潟県民会館 ギャラリーA
作品鑑賞・解説会
平成31年1月12日(土) 午後1時～

1月の開催ということで、天候が心配ですが、ご高覧くださいませようお待ちしております。



あとがき

これまで実施した事業の概要を掲載しました。向寒の候、ご自愛ください。